



OPTiMはおかげさまで
創業20周年を迎えました

OPTiM CORPORATE PROFILE

株式会社オプティム 会社案内

OPTiM®

INDEX

会社概要	1
経営理念	2
Mission（代表ご挨拶）	3
沿革	4
〇〇×IT Solutions	6
IoTプラットフォームサービス	16
Enterprise Mobility Management	18
Remote Experience Sharing	20
Unlimited Service	22
Support Service	22
Others	23
知財戦略	24
Partnership	25



佐賀本店 —OPTiM Innovation Park—
2017年10月20日移転

会社概要

商号	株式会社オプティム（英語表記：OPTiM Corporation）		
上場市場	東京証券取引所プライム市場		
証券コード	3694		
所在地	OPTiM TOKYO（東京本社）〒105-0022 東京都港区海岸1丁目2番20号 汐留ビルディング18F OPTiM SAGA（佐賀本店）〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1 オプティム・ヘッドクォータービル（佐賀大学内） OPTiM KOBE 〒651-0088 兵庫県神戸市中央区小野柄通7丁目1番1号 日本生命三宮駅前ビル11F TECH CENTER IIZUKA 〒820-0067 福岡県飯塚市川津680-41 飯塚研究開発センター103号室 （テックセンター飯塚）		
設立	2000年6月8日		
資本金	444百万円（2023年4月1日現在）		
決算日	3月		
スタッフ	398名（2023年4月1日現在）		
役員	代表取締役社長 菅谷 俊二 監査役（常勤・社外） 小島 孝之 取締役 / 本部長 谷口 玄太 監査役（非常勤・社外） 飯盛 義徳（慶應義塾大学総合政策学部教授） 取締役 / 本部長 休坂 健志 監査役（非常勤・社外） 吉富 勝男 取締役 / 本部長 林 昭宏 取締役（非常勤・社外） 江川 力平 取締役（非常勤・社外） 竹崎 雄一郎 輪番担当役員 野々村 耕一郎		
主要株主	菅谷 俊二 東日本電信電話株式会社 富士フイルムビジネスソリューション株式会社		
事業内容	ライセンス販売・保守サポートサービス（オプティマル）事業（IoTプラットフォームサービス／リモートマネジメントサービス／サポートサービス／その他サービス）		
主要取引先 （五十音順）	NTT コミュニケーションズ株式会社／株式会社NTT ドコモ／株式会社大塚商会／ キャノンマーケティングジャパン株式会社／KDDI 株式会社／株式会社小松製作所／ ソフトバンク株式会社／西日本電信電話株式会社／パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社／ 東日本電信電話株式会社／富士フイルムビジネスソリューション株式会社／リコージャパン株式会社		
グループ会社 （五十音順）	< 子会社 > 株式会社オプティムアプリ・みちのく オプティム・バンクテクノロジー株式会社 株式会社オプティム・ファーム 株式会社ユラスコア 株式会社ランドログマーケティング		< 関連会社 > 株式会社 NTT e-Drone Technology DXGoGo 株式会社 ディピュラメディカルソリューションズ株式会社 株式会社ネットリソースマネジメント

認定



東京本社で行うシステム開発及び運用業務において、2012年10月に情報マネジメントシステム（ISMS）の国際規格であるISO/IEC27001認証を取得しました。



当社は行動計画に定めた目標を達成し、厚生労働大臣より2015年9月に「子育てサポート企業」として認定されました。

※その他このパンフレットに記載されている会社名・商品名などは、各社の商標および登録商標です。
※このパンフレットに記載された情報は発表日現在のもの、または開発中のものです。商品名及びのサービス内容・機能・仕様・お問い合わせ先などの情報は予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。

Philosophy

世界の人々に大きく良い影響を与える
普遍的なテクノロジー・サービス・ビジネスモデルを
創り出すことを目的として事業に取り組む。

また、存続を目的とせず、
たえず身の丈に合わない大きな志を持ち、
楽しみながら挑戦する。

社内外を問わず、あらゆる属性を意識せず、
互いが互いの立場を思いやり人間力の向上をおこなう。

Mission

ネットを空気に変える

「ネット端末を、あなた好みに働かせます」

当社は「ネットを空気に変える」というコンセプトを掲げ、もはや生活インフラとなったインターネットが、未だ利用するにあたりITリテラシーを必要とする現状を変えたいと考えております。インターネットそのものを空気のように、全く意識することなく使いこなせる存在に変えていくことをミッションとして、創業以来すべての人々が等しくインターネットのもたらす創造性、利便性を享受できるようなサポートをするプロダクトの開発に尽力して参ります。



代表取締役社長 菅谷 俊二

OPTiM History

1996-2007

- 2001.4**
ダウンロードプロモーションサービス **i-CM** を提供
- 2001.10**
ストーリーミング動画広告サービス **i7 Streaming Spot** を提供
- 2003.3**
プッシュ型情報配信インフラ **i7 Just Time Information** を提供
- 2004.3**
モバイルラーニングシステム **KINJIRO-** を提供
- 2006.9**
東日本電信電話株式会社と技術ライセンス契約を結び、2ヶ月でメールやルーターの自動設定を行う **Optimal Setup** を提供
- 2006.9**
メールやインターネットの自動診断、自動復旧を行う **Optimal Diagnostic&Repair** を提供
- 2007.4**
パソコンの特定操作を自動化するプラットフォーム **Optimal Smart Pointer** を提供
- 2007.10**
パソコン向け画面共有製品 **Optimal Remote** を提供



Support

Remote

Biz (Mobile Device Management)

2008-2013

- 2008.1**
パソコンの環境を診断して、最適なソフトウェアやメッセージ配信を行うプラットフォーム **Optimal Communication & Management** を提供
- 2009.10**
パソコン向け管理プラットフォーム **Optimal Biz** を提供
- 2010.10** **世界初**^{※1}
Android 向けリモート製品 **Optimal Remote Mobile** を提供
- 2010.11** **世界初**^{※1}
パソコン向け消費電力の見える化・最適化ツール **Optimal Green** を提供
- 2011.3**
東日本大震災支援活動として **Optimal Green** を無償提供
- 2011.3**
日米にて、機器の特定・設定・診断する技術 **AIC** で特許を取得
- 2011.5**
モバイルデバイス管理プラットフォーム **Optimal Biz for Mobile** を提供
※現 Optimal Biz
- 2011.6**
Optimal Remote の **同時画面転送技術** で特許群を取得
- 2011.11**
IT機器検出技術 **Tiger** で特許を取得
- 2012.9** **世界初**^{※1}
マルチデバイスリモート製品 **Optimal Remote Ubiquitous** を提供
- 2012.12** **世界初**^{※1}
不正遠隔制御対策ソフト **Optimal Guard** を提供
- 2013.1**
ペアレンタルコントロールアプリ **Optimal Gadget Youth** を提供
- 2013.2** **世界初**^{※1}
スマートフォン同士の画面共有アプリ **Optia** を提供
- 2013.5**
パソコンソフト使い放題 powered by **OPTiM** を提供
- 2013.7**
Optimal Biz Apps より無償クラウドサーバーサービス **Optimal Biz Docs** を、スマートデバイスカスタマイズソリューション **Optimal Biz Gadget** をそれぞれ提供
- 2013.12**
Android 向け MDM の独自シールド技術 **Secure Shield** を発表
※2014.10 米国にて特許取得



2014-2015

- 2014.3**
Zone (時・空間) により端末の設定を自動的に最適化する特許技術群を利用した技術 **Zone Management** を発表
- 2014.11** **世界初**^{※1}
タブレット向けトータルサービス **タブレット使い放題** powered by **OPTiM** を提供
※現タブホ[®]
- 2014.11** **国内初**^{※1}
スマートフォンを安心してご利用頂くための MVNO 事業者向けトータルサポートサービス **スマホ安心バック** を提供
- 2014.12**
中国 Hisense 社とシニア向け高級スマートフォンを共同開発し、中国国内で販売
- 2014.12** **世界初**^{※1}
全世界の Android スマートフォン、タブレットをリモートサポートできる **Optimal Remote for Lollipop** を発表
- 2015.3**
IoT / ウェアラブル時代のリモートテクノロジー戦略として **Remote Experience Sharing** を発表
Visual Remote Support サービス **Optimal Second Sight** を建設現場 ICT ソリューション「スマートコンストラクション」へ提供
- 2015.4**
Wearable Device Management サービス **Optimal Biz Watch** を発表
- 2015.8** **世界初**^{※1}
遠隔作業支援専用スマートグラス **Remote Action** を発表
- 2015.8**
コスメマーケットに参入し、**コスメ×IT** に取り組むことで Remote Experience Sharing を実現
- 2015.8** **世界初**^{※1}
ドローン対応ビッグデータ解析プラットフォーム **OPTiM SkySight** を発表
- 2015.9**
サイバー攻撃による未知の脅威を含む不正遠隔操作を防止する出口対策セキュリティ、**ヒューリスティック対策** の基本特許を取得
- 2015.9**
マルチ OS でリアルタイム画面共有が行えるシンプルコラボレーションサービス **OPTiM Cafe** を提供
- 2015.10**
ビジネスに必須なサービスを安全に利用できるセキュア MAM サービス **Optimal Biz Secure Sync** を提供
- 2015.10**
Optimal Biz が **4年連続 IT 資産管理 & MDM 市場シェア実績 No.1** を達成
文教市場向け MDM 売上高 **2年連続シェア No.1** を達成



Cloud IoT OS (AI・IoT・Robot)



2016-2017

- 2016.3**
生体認証を用いたセキュア・マーケットプレイス **OPTiM Store** を発表
- 2016.3**
IoT 時代に最適化された新型 OS、**OPTiM Cloud IoT OS** を発表
- 2016.4**
MRT と共同開発した遠隔医療健康相談 **ポケットドクター** を提供
また、熊本地震支援活動として震災支援版を無償提供
- 2016.5**
研究開発による AI を活かし **AI コンサルティングサービス** を提供
- 2016.9**
IoT デバイスを時空間で管理する概念 Zone Management に新たな基本特許技術を権利化
- 2016.12**
佐賀大学と IoT・AI を活用した未来型医療の共同研究、実証を行う **メディカル・イノベーション研究所** を設立
- 2017.3**
MDM・PC マネジメントサービス **Optimal Biz** が合計 **24部門で No.1** の評価を獲得
- 2017.3** **世界初**^{※1}
LPWA・セルラー通信機能搭載の固定翼型ドローン **オプティムホーク** を発表

1996-2007

- 1996**
中高の同級生が大学1年の時「ネットで新しいことをやろう!」とスタートさせ価格比較サイト **秋葉原仮想電機街** を開発
- 199X** **世界初**^{※1}
第1回ビジネスジャパンオープンにてダウンロード中に広告を流す DL プロモーションサービス i-CM が特別賞 (孫正義賞) を受賞
- 199X**
橋口電機株式会社の社長 (故: 橋口 弘之 氏) と出会いアイデアを提供することで資本金支援を請ける
- 2000.6**
株式会社オプティム 佐賀県にて創業
- 2001.10**
田町に東京オフィスを開設
- 2006.9**
東京オフィスを移転し本社化
- 2007.11**
スタッフ数が100人を突破し、東京本社を増床

2008-2013

- 2008.3**
第三者割当増資 (割当先: 東日本電信電話株式会社) を行う (資本金 134,870 千円)
- 2009.8**
東京本社を品川へ移転
- 2009.9**
日本電信電話株式会社とホームICTの普及促進に向けて業務提携
- 2012.3**
福岡にカンテラオフィスを開設
- 2013.5**
東京本社を愛宕へ移転

2014-2015

- 2014.10**
東京証券取引所 マザーズ市場上場
- 2014.12**
テレパシージャパンとウェアラブルソリューション分野で業務提携
- 2015.3**
コマツ (株式会社 小松製作所) とリモートテクノロジー分野で業務提携
- 2015.4**
KDDI Smart Mobile Safety Manager の Apple [Device Enrollment Program] 対応において KDDI と共同開発
- 2015.8**
佐賀大学農学部、佐賀県生産振興部、オプティムが IT 農業における三者連携協定を締結
- 2015.9**
富士ゼロックスとの資本提携関係を強化
- 2015.10**
東京証券取引所 市場第一部へ市場変更



2016-2018

- 2016.1**
カンテラオフィスを九工大前オフィスへ
- 2016.2**
東京本社を汐留へ移転
- 2016.3** **世界初**^{※1}
ポケットドクターが第1回ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト 2016 でグランプリを受賞
- 2016.6** **世界初**^{※1}
殺虫機能搭載ドローンで夜間の無農薬害虫駆除を目指した実証実験に成功
- 2017.3**
佐賀県、佐賀大学、佐賀県有明海漁協、農林中央金庫、NTTドコモ、オプティムが水産 IoT における 6 者間連携協定を締結
- 2017.5**
佐賀県との AI・IoT 包括連携協定を締結
- 2017.7**
コマツ、NTTドコモ、SAP ジャパン、オプティムは建設生産プロセス全体をつなぐ新プラットフォーム LANDLOG を設立
- 2017.10** **日本初**^{※1}
国立大学 (佐賀大学) 内に上場企業本店 (オプティム・イノベーションパーク) を移転
- 2018.3** **日本初**^{※1}
佐賀大学内にモノタロウ初の実店舗となるモノタロウ AI ストア (無人店舗) を共同でオープン



LANDLOG

※敬称略 ※1: 世界初/国内初については、発表時点の当社調べによる。

∞ × IT Solutions

各業界・産業と AI・IoT・Robot を融合させる「∞×IT」により、
IT の力で業界・産業基盤を再構築していきます。



安全性向上

- 困難な状態の監視
- 作業履歴の管理
- 熟練ノウハウの蓄積・可視化
- 故障の予測

収益性向上

- 新ビジネスの創出を通じた売上拡大
- エネルギーコストの削減
- 生産性向上による売上拡大
- 維持・修繕におけるコスト削減



OPTiM Hawk

固定翼ドローン

水産、林業などの上空観察に必要とされる、広域、長時間のデジタルスキャンを実現する固定翼型ドローン。航続距離30km以上、滞空時間1時間以上を実現。機体情報はテレメトリーにより取得することが可能です。

上空観察 長時間飛行



OPTiM Agri Drone

マルチコプタードローン

オプティム独自設計フレームにより、実作業に必要な様々なカメラを装着可能にし複数の画像解析方式に対応。高いカスタマイズ性とメンテナンス性を両立。広域通信ユニット、ピンポイント農業散布機などを搭載可能です。

低空観察 農業散布可



OPTiM Crawler

陸上走行型ロボット

農地やハウス内の生育管理を高効率化する陸上走行型ドローン。生育観測が可能な様々なカメラデバイスを搭載し、自動・自律運用ロボットと高精度画像解析技術を融合化したシステムです。

陸上走行 自立運用



Robotics Service

位置情報を含む分析用の画像データ収集を効率的に行うため必要に応じたタイプのドローンをご提供します。

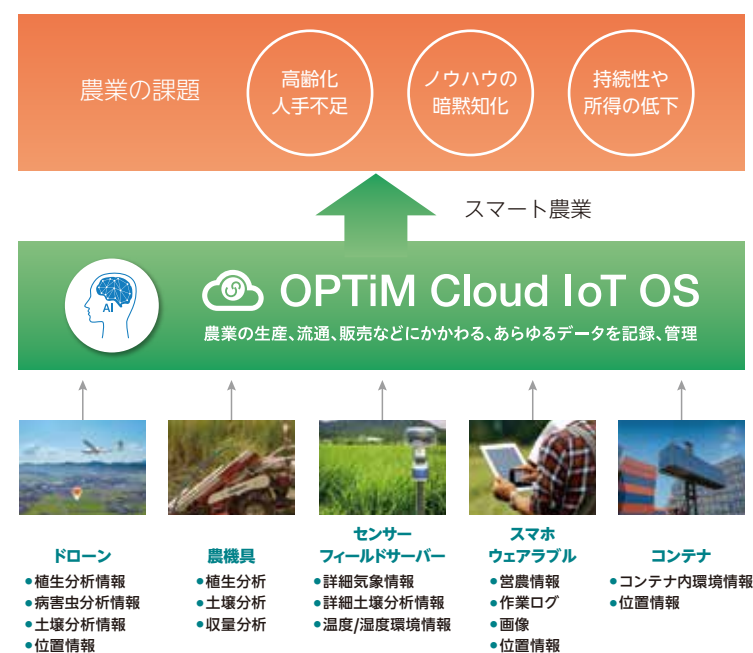
∞ 農業 × IT Solutions

OPTiMは、AI・IoT・ビッグデータを活用して
“楽しく、かっこよく、稼げる農業”を実現します。

日本の農業には様々な課題が山積しています。農業従事者の高齢化や担い手の減少、それにともなう作業負担の増加。また、ノウハウの暗黙知化、所得の低下等、農場の持続性の確保が年々難しくなっています。オプティムのスマート農業は、AI・IoT・ロボット・ドローン・ネットワークカメラ・ウェアラブルデバイスなどを有効活用できるプラットフォーム「OPTiM Cloud IoT OS.」と連携しています。あらゆる情報をデジタル化し、そのデータを元にAI解析のアプローチを繰り返し、生産から物流、販売までの様々なコスト削減、利益向上につなげ、「楽しく、かっこよく、稼げる農業」を実現していきます。

三者連携協定

2015年8月、佐賀県生産振興部、佐賀大学農学部とオプティムは、農業IT分野での三者連携協定を行いました。産学官の三者によるオープンな枠組みを構築し、佐賀大学農学部の学術知見、佐賀県の実用的な知見・ノウハウ、オプティムのテクノロジーを融合させた様々なアプローチにより、農業の効率化・高度化・実用化を図り、IT農業分野の研究開発を推進します。この取組により、世界No.1となるIT農業の実現を佐賀県から目指していきます。



様々なサービスを展開し、生産から物流、販売まで農業の抱える課題の解決を目指します。



圃場情報管理サービス

ドローンによる画像やフィールドのセンサー情報を統合し、高度な生育管理で病害虫の発見などを実現します。



ハウス情報管理サービス

ハウス内に設置された大量のセンサーと、クローラーからの画像データからトマトの収量予測を実施します。



ロボティクスサービス

位置情報を含む分析用画像データ収集を効率的に行うため、それぞれの状況に応じたタイプのドローンを提供します。



農作業記録・GAP取得支援サービス

音声の自動テキスト化により、簡単に農作業記録を実践。GAP取得に必要な農作業情報をスマートデバイスで共有確認が可能です。



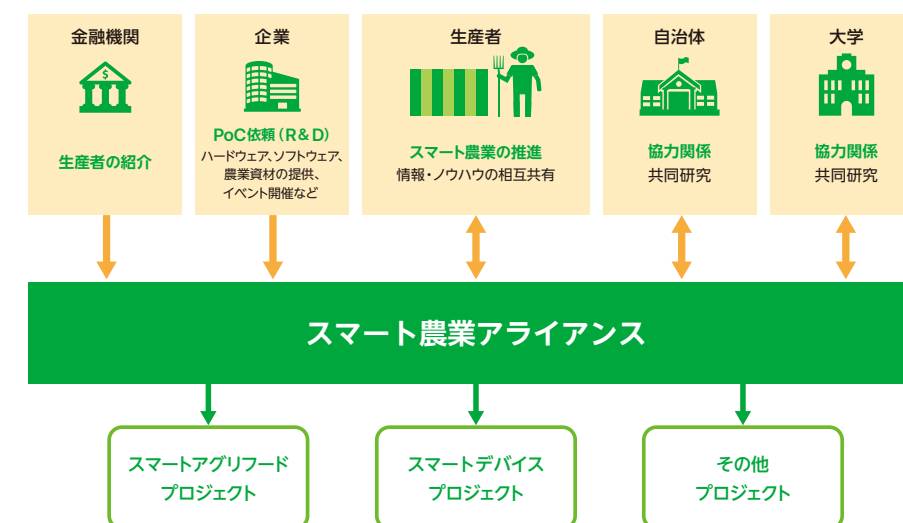
OPTiMスマート農業で栽培された野菜

AI・IoT・ロボットを使って栽培された野菜は「IoTによって管理された安心・安全な野菜」として、ブランド化を実現します。



トレーサビリティプラットフォーム

生育作業履歴、流通履歴、資材調達履歴などをブロックチェーンの活用により、共通管理する「オープン」「高効率」「高信頼」なサプライチェーンを実現します。



スマート農業アライアンス

スマート農業アライアンスとは、スマート農業を推進する未来志向の生産者を中心としたアライアンスです。AI・IoT・ドローンを用いた高付加価値な農作物の生産・販売やスマートデバイスを活用して、匠の技を遠隔から共有するプロジェクトに取り組んでいます。また、全国の生産者だけに限らず、自治体、大学、企業、金融機関等、幅広い皆さまとのアライアンス・プロジェクトを実施します。



ITの技術を活用した斬新な栽培環境のもとで農作物を生育管理し、従来の農作物以上の“品質”と“安心”そして“おいしさ”を追求する野菜ブランドです。「スマートやさい」は生産者の負担を軽減し、生産性を向上させる栽培環境のIT化と、トレーサビリティの確保を行い、生産物・生産者情報などを消費者に紹介することで、安心して購入いただけるとともに、消費者と生産者の継続的な関係づくりに貢献します。

医療は次のステージへ

医療が抱える課題として高齢者の増加、専門医の人手不足、医師の高齢化や地域による医師の偏在化などが挙げられます。わたしたちはそれらの課題を解決すべく AI・IoT の活用で時間も場所も選ばない医療を提供していきます。

医療系企業
との協業

オプティムの
技術基盤

実証実験

AI 画像診断
支援サービス

在宅医療
サービス

遠隔診療
サービス

オプティムでは従来開発している遠隔支援技術や IoT プラットフォームと実証実験や協業による知見を融合して 様々な医療課題に取り組んでいます。

遠隔診療

遠隔診療ポケットドクター

スマートフォンやタブレットを使って、オンライン上で医師から診療を受けることが出来る遠隔診療サービスです。医療情報のプラットフォームを提供する MRT 社と共同で提供しています。



在宅医療

Smart Home Medical Care

ウェアラブルデバイスやタブレット、AIカメラなどを用いて病院同様の安心感を患者宅に提供し、在宅医療における医療従事者の負担を軽減します。一例として織田病院様の Medical Base Camp という取り組みにて遠隔でのお声がけや在宅患者の室温管理機能を提供し、共同で実証実験を行っています。



研究開発

AI Medical Image Assistant Service

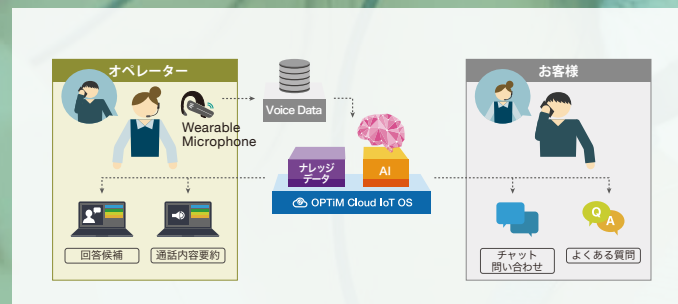
AIにより迅速かつ正確に画像を解析し、画像診断を支援します。一例として、佐賀大学医学部とのメディカル・イノベーション研究所という取り組みの中で、眼底画像の診断支援 AIを開発しています。



∞ コールセンター × IT Solutions

AI がサポートするコールセンターへ

企業と消費者のコミュニケーションが多様化している現在、コールセンターはあらゆるチャネルで迅速な解決が求められる一方、「長期的なリソース確保」「オペレーターの研修時間の長期化」「対応時間の長時間化」の課題が顕在化し、抜本的な改善が期待されています。AI コールセンターサービスは、ディープラーニングの発展により急速に進化する人工知能（AI）を活用し、これらの課題を解決いたします。



AI Call Center Service

音声解析技術を活用し、ナレッジの蓄積・オペレーション業務のサポートや研修時間の短縮を実現するだけでなく、AI チャットボットによるコールセンター業務の業務効率化とコスト削減を実現します。



AI Voice Analytics Service

AI 音声解析サービスは、音声ファイルの高精度解析だけでなく、マイクから入力された声をクラウドで迅速に処理し、会話のスピードや話し方のクセ等に左右されることなく、テキスト化いたします。

顧客のお問い合わせ内容を音声解析することで、キーワードからコールリーズンを割出し関連するナレッジやFAQを表示、オペレーターをサポートします。QAなどの異なるチャネルで表示された回答候補のうち採用されたログを統一し、ナレッジとして蓄積をし、次の回答候補にフィードバック。ナレッジの共有は自動化されレアケースなどの研修時間が短縮されます。また、蓄積されたデータはAIチャットボットに活用する事により、AIが解析して問合せの内容を判断、コールサポートの営業時間外でも顧客対応を可能とします。

∞ 小売 × IT Solutions

AI 技術でお客様をもっと知る。
見えてくるのは“未来のお客様”です。

Smart Retail Management はIoT・AI 技術を用いて小売業界における「人件費の削減」「労働生産性の向上」といった問題解決だけでなく、「集客分析」や「リアルタイムプロモーション」といった潜在顧客を積極的に取り込む店舗マネジメントを実現いたします。

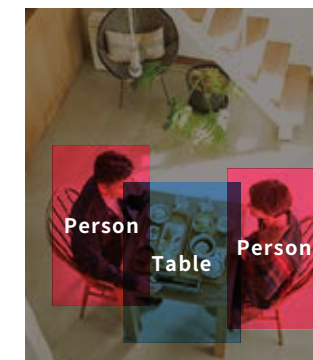


AI Store

入退場ゲート・専用レジ端末により無人化、省力化の店舗運営を可能にします。顧客に対し新しい体験を提供しつつ、AI カメラが入店者の顧客属性の判別を行い集客分析します。また、入店後の行動を正確に把握し店舗セキュリティも AI でサポートします。



集客解析



空席検知



防犯



外部デバイス連携

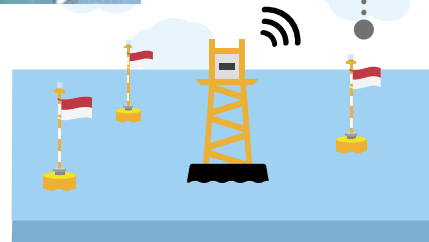
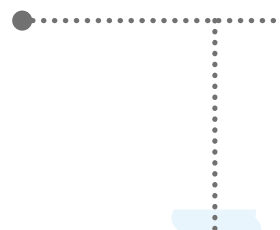
Smart Retail Management は「集客分析」や「空席検知」、「防犯」、「外部デバイス連携」などの機能が提供され、店舗スタッフでは把握しきれない情報をAIによって解析します。これにより、難しい予備知識を学習する必要がないだけでなく、少ない投資で顧客満足度や店舗稼働率を向上させ、最適な店舗運営を実現することができます。

∞ 水産 × IT Solutions

AI・IoT・ロボットを取り入れた成育を行うことで、
経験と勘に頼る養殖業から大きく差をつけます。

水産業もまた農業と同じような課題を抱えています。養殖業においては、遠方の広大な養殖場を確認する作業の負担は、コストの面でも人手、体力ともに甚大です。OPTiMの水産IoTソリューションによる養殖業の支援では、ドローンで空撮したデータを画像解析することにより、病害の早期発見ができます。また、水質センサーを搭載したICTブイの設置することで、水質の変化を海に出ずにいち早く検知し、すぐに被害を防ぐための対策ができます。

OPTiM Hawk
空撮したデータを人工知能で解析し、病害
を早期発見



ICT ブイ
さまざまなセンサーを通じて、海水の塩分
濃度、海水温、比重など収集

Fishery Manager

気象情報、海況、作業情報、生育情報など多岐にわたる養殖業に関わる情報を一元管理できるサービスです。
ドローンからの画像、ICTブイからの海況データと生育過程を紐付けることで、最適なタイミングで次に行うべき作業をAIが導き出します。数値データ(海況、作業、品質)などの関係性を人工知能で解析することで、好適環境条件を明らかにします。

IoT活用6者間連携協定

ノリ養殖における「IoT活用6者間連携協定」とは、13年連続で海苔生産量日本一を誇る佐賀有明海域において、ノリ養殖の品質および収量の向上、病害や赤潮対策、海苔漁家の作業負担軽減や所得向上をめざして、行政、大学、漁協、金融、通信、IT各分野のスペシャリストである6者が合意した連携の枠組みです。



∞ 鉄道 × IT Solutions

AIとカメラを活用して迅速なセキュリティ対応を



AI Physical Security Service

AI Physical Security Serviceは、駅のホームの侵入禁止エリア、危険エリアなど、特定のエリアに侵入者や異物があれば、画像解析によって危険状況の有無等をAIが検知、監視者へ注意を促し事故を未然に防ぐ安全強化のためのサービスです。

∞ 製造 × IT Solutions

製造現場を「見える化」するAI



AI Predictive Maintenance Service

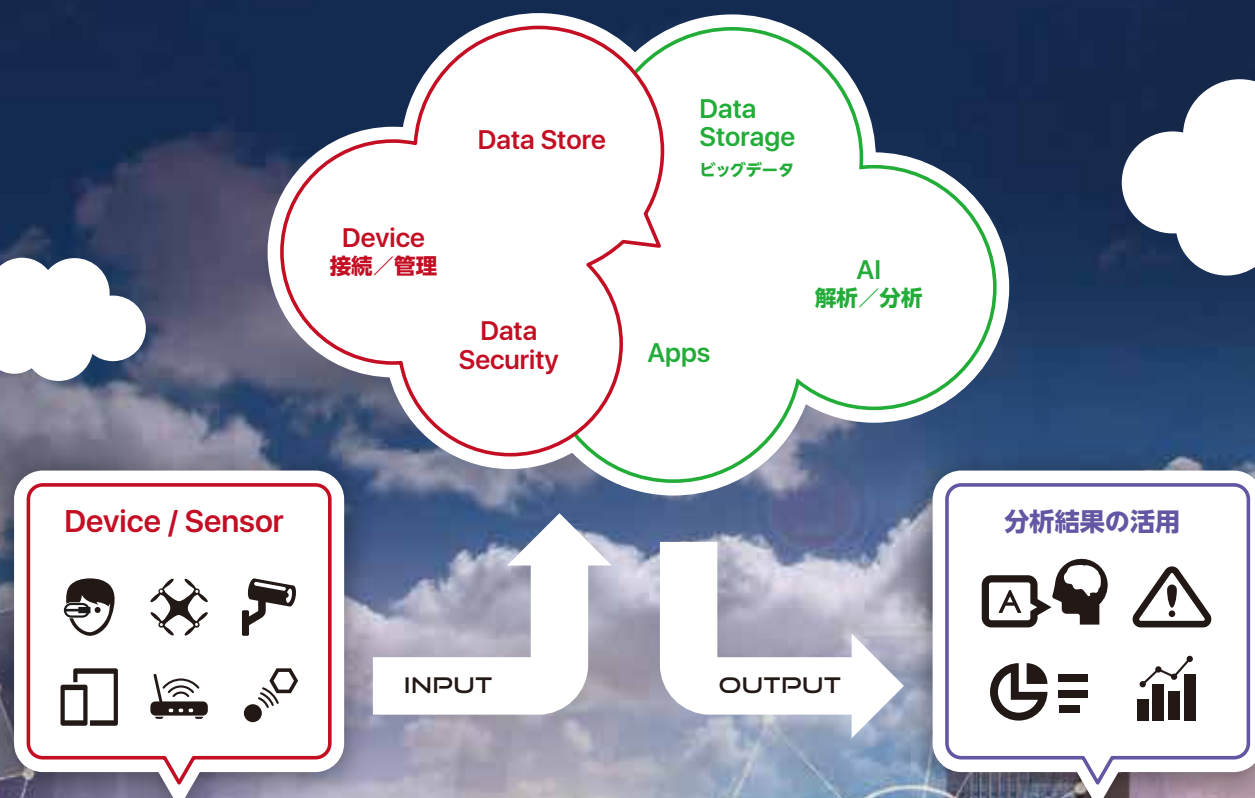
製造機械に取り付けられたセンサーが様々なデータを取得、集約されたデータをAIで解析することによって、専門家でも気づきにくい故障や異常を予知します。最適なタイミングでメンテナンスを行うことで深刻な事態を未然に防ぐことが可能となります。

OPTiM Cloud IoT OS

AI・IoTサービスを作る時代から使う時代へ

現時点の IoT を取り巻く状況は、コンピューター普及の歴史において一部の企業による巨額の投資を必要としたメインフレーム全盛期、Microsoft の Windows や Apple の Mac OS など汎用 OS が登場するよりも以前、周辺機器を接続するためにデバイスドライバの個別開発、検証を要する PC 普及期の状況に類似しています。OPTiM では「コンピューターの普及のきっかけとなった OS の設計概念」に着眼し、その思想を受け継ぐ形で OPTiM Cloud IoT OS。の開発に至りました。デスクトップ OS が誕生してコンピューターが一斉にあらゆる職場や家庭に浸透していったように、ネットを空気に変え、IoT をもっと身近に感じる世界を広げていきたいと考えています。

PLATFORM



豊富なデバイス管理機能で、IoT時代のあらゆるデバイスに対応

OPTiM Cloud IoT OS。は、様々な産業において活用が期待される、ドローン、ネットワークカメラ、スマートグラス、ウェアラブルデバイス、センサーなどに対応します。デバイスの接続方式や通信プロトコルに幅広く対応することで、デバイスの対応機種数や新機種対応をすばやく実現します。デバイス管理機能では機器の接続、モニタリング、リモートコンフィグ、ファームウェア管理までを網羅しています。



人工知能による高度な解析が簡単に扱えるプラットフォーム

従来の IoT プラットフォームのようなデバイスの接続、管理、閲覧だけではなく、その後の AI による学習、解釈へと繋がります。デバイスから取得した画像や映像、音声、時系列など、形式や容量が様々なデータに対して、画像認識、音声認識などの手法を用いて高度な解析を可能にします。結果として得られるデータは課題の解決、問題や事故の予防などの現状把握、その後の行動や意思決定へと繋がっていきます。



同一プラットフォームでさまざまな利用用途や他産業へのスケールも可能

これまでに蓄積してきたデータに対し、それまでと違った解析を当てはめてみたり、複数の異なった種類のデータを組み合わせることで予測精度の向上を図ったり、データ活用の幅をこれまで以上に広げるための拡張性や柔軟性のある仕組みを持っています。業界ごとに異なる多種多様なシーンに対応したアプリケーションが公開されることで、産業を超えてのサービス展開にも、同一プラットフォームで細かく、素早く導入を実現します。



Enterprise Mobility Management

ビジネスで使うスマートフォン、タブレット、PCなどのネットワークデバイスをクラウド上から一括管理し、セキュリティ対策などの設定を簡単に行うことができるサービスです。各種新OSやその新機能へ迅速に対応し、業界最多^{*1}の対応機種・機能を誇ります。ビジネス現場における様々な課題を解決し、ノウハウを蓄積することで、お客様の導入規模やニーズに合わせた最適なサービス形態を提供してモバイルデバイスの可能性を広げます。

Device Management

規模を問わず、デバイスの導入から運用管理まで迅速かつ効率的に行えるようにサポートします。リモートで端末の状態を確認でき、システム管理者はITツールの導入に多くの時間を割くことなく、手軽に運用できます。シンプルで使いやすいユーザーインターフェースにより、少ないステップで全ての設定、機能にアクセスでき、デバイス管理を効率化することが可能です。

Application Management

アプリケーションをより簡単に配信、管理することが出来ます。配信すると同時にライセンスの配布や回収などを容易に行えます。

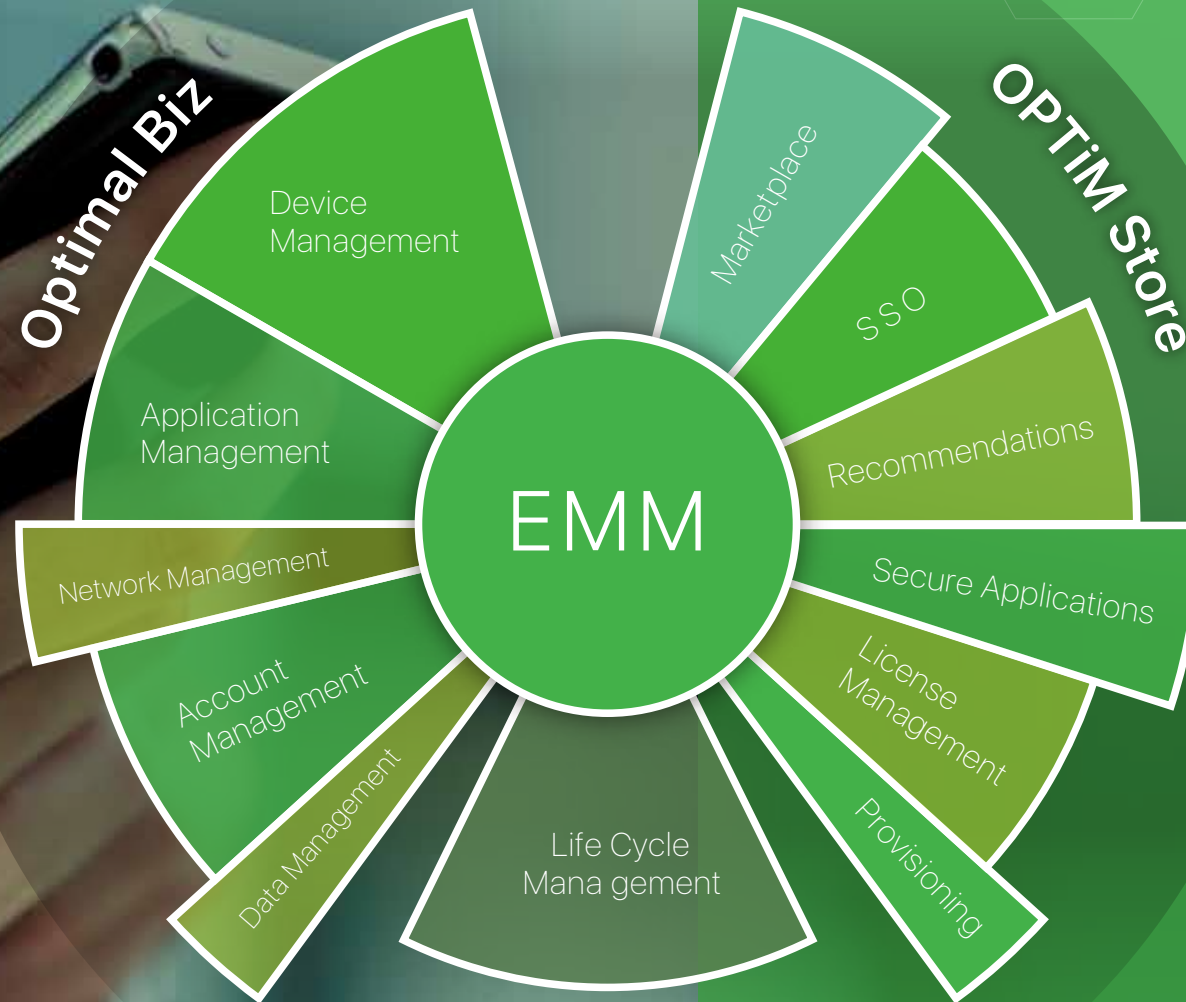
Account Management

企業のID管理に対して柔軟に対応します。多種多様なシステムを利用するユーザーの情報を一元化して、Optimal Bizのアカウント一つで管理できます。

Life Cycle Management

デバイスの入れ換えや保守、また端末を保有する従業員の異動などに応じた、デバイス情報の変更やライセンス回収など、デバイスやアプリライセンスの導入から回収までをサポートします。

※MDM=Mobile Device Management ※1: 2016年10月11日現在(当社調べ)



Marketplace

サービスの購入から配信までをワンストップで行うことができます。月額、年額、従量課金といった様々な課金形態で商材を取り扱うことが可能です。

SSO (Single Sign-On)

購入したSaaSのアプリ配信と同時に認証連携(OPTIM Store。のアカウントで該当SaaSへもログインできる)状態になります。これによりOffice 365やG Suiteを始めとした複数のSaaSを個別のID、パスワードを意識することなく利用できます。

License Management

ライセンス数や利用期間などをシステム上で管理することにより、サブスクリプションを始めとした複数のサービスのライセンス管理の手間を省くことができます。

Provisioning

Office 365を始めとしたSaaSを購入後、管理者アカウントが即時作成され、すぐに利用開始できます。SaaSの販売効率化と、顧客の満足度向上につながります。

Recommendations

サービス毎の販売状況を利用デバイス、企業特性などの様々な軸で分析でき、各企業に最適なサービスの提案が行えます。

Secure Applications

様々なビジネスシーンに対応したサービスを購入することができます。全てのアプリはビジネスユースに相応しいセキュリティ、サービスレベルを満たしていることを審査して、提供しています。

国内で35,000社のお客様の信頼を得て、26部門でNo.1の評価を獲得しました。



出典: IDC Japan 2017年8月発行、「国内エンタープライズモビリティ管理ソリューション市場シェア、2016年: 適用領域の拡大による高成長」、国内エンタープライズモビリティ管理ソリューション市場ベンダー別売上額実績、2014年～2016年より。

出典: テクノ・システム・リサーチ、2017年1月発行、「[2016-2017年版] PC資産管理 / モバイル管理市場のマーケティング分析」、2016年[2016年メーカーシェア出荷ライセンス数内訳]、[2016年メーカーシェア売上金額内訳]、[ユーザー規模別売上状況-99人以下]、[ユーザー規模別売上状況-100～999人以下]、[ユーザー規模別売上状況-1,000人以上]、[提供方式別売上状況-SaaS]、[OEMシェア]実績値より。

出典: 富士キメラ総研 2017年9月発行、「[2017 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧(上巻)]」より。

出典: ミック経済研究所 2017年9月発行、「[コラボレーション]コンテンツ・モバイル管理パッケージソフトの市場展望 2017年度版」より。

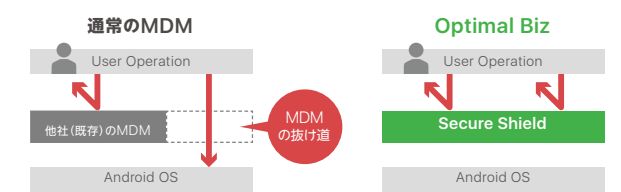
Zone Management



時間、場所に応じたデバイス設定を自動で適用します。利用者のWi-Fi環境、場所、時刻を検知し、その組み合わせでZoneを判定し、最適な設定をデバイスに適用することが可能な独自の技術です。

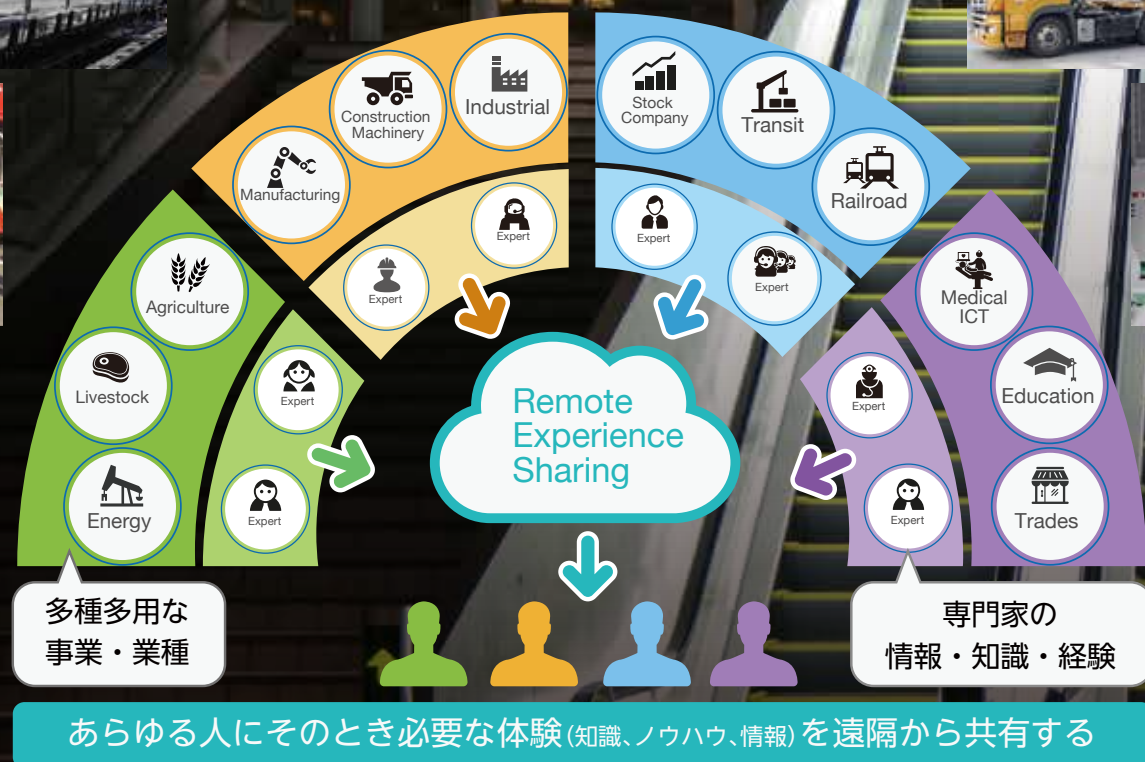
※Zone Management: 特許第4914414号取得

Secure Shield



通常のMDMではAPI制御できない設定項目を、独自の仮想設定画面により変更可能な状態にします。モバイルセキュリティに潜む脆弱性を悪意ある利用者から防ぐ唯一の技術です。

※Secure Shield: 特許第5714560号取得(日本)他、米国と韓国でも取得済み。



Remote Experience Sharing

IoT/ウェアラブル時代のリモートテクノロジー戦略として、「Remote Experience Sharing」を発表しました。“あらゆる人にそのとき必要な体験（知識、ノウハウ、情報）を遠隔から共有する”環境を全産業向けに提供し、ユーザーは本来のやりたいことだけに集中でき、その手段に関する専門知識を必要とせず、技術進化による恩恵を最大限に享受できる世界を目指しています。

Optimal Second Sight/Remote Action

スマートグラス、スマートフォン、タブレットのカメラを用いて現場の映像を遠隔地に共有し、各種支援機能を用いて現場作業をサポートできる遠隔作業支援サービスです。遠隔地にいる専門知識を持った指示者は、現場作業員の目の前の状況をリアルタイムな映像で確認できるため、あたかも現場にいるようにきめ細かいサポートが可能です。設備メンテナンス業、工場、建設業などで多くの業界でご利用頂いております。専用のスマートグラスをワンパッケージにした Remote Action も提供しています。



Smart Field

Smart Field は、スマートグラスを始めとするウェアラブルデバイス・IoT 機器を利用し、現場で働く方の作業を強力にサポートします。遠隔作業支援（静止画、動画、音声）による作業記録、タスク管理、進捗管理が可能です。また AI による解析を組み合わせる事により、記録した画像からの文字抽出や音声の文字起こし等が可能になります。これにより、作業を止めることなく記録が取れ、現場作業が完了した後の事務作業等を削減する効果が見込めます。



Optimal Remote

遠隔でスマートフォン、タブレット、PC、プリンター、ルーター等のネットワークデバイス画面をセキュアに共有して、オペレーターがリモート操作でサポートするサービスです。タッチ操作や設定変更、デバイス情報の取得による操作のサポートやトラブル解決はもちろん、サーバーのメンテナンスも行え、サポートプロセス全体の高速化、短縮化を実現しています。これまで費やしていたサポート時間を大幅に削減し、従来の約 60% のサポート時間で問題を解決します。

※本サービスを利用されたお客様の統計データより算出。



Optimal Smart Remote

外出先や会議室からスマートフォンやタブレットで自席の PC を遠隔操作することが可能なクラウドサービスです。どこにいても、手元のスマートデバイスから社内情報にセキュアにアクセスし、簡単な操作で直ぐに利用ができます。これにより「Remote Experience Sharing」におけるワークスタイルの変革を実現します。



Unlimited Service

スマホやタブレット、PC で使い放題コンテンツを提供するコンシューマーおよび法人向けサービスです。



タブホ®

国内最大級^{*1} 3,000 冊以上
人気雑誌が読み放題

※掲載のラインナップは 2018 年 2 月現在のもので、
※1: 2018 年 2 月現在 (当社調べ) 雑誌の読み放題サービスで閲覧可能な雑誌の数 (雑誌数) として。

電子雑誌読み放題サービス『タブホ®』

国内最大級^{*1} 3,000 冊以上の人気雑誌が読み放題のサービスです。週刊誌、ファッション、グルメ、ビジネス、グビア、旅行ガイドなど豊富なラインナップを取り揃え、スマホ、タブレット、PC に対応して幅広いお客様に利用されています。柔軟な販売形態を持ち、月額継続課金、ダウンロード販売、チケット物販、POSA など様々な取引に対応しています。カスタマイズ性も高くサービスロゴの変更やパンフレット等のオリジナルコンテンツを提供することも可能です。

エリア型読み放題サービス『タブホ®スポット』

店舗や施設の一般利用者向けに「タブホ®」を無料配信し、待ち時間、休憩、施設利用の合間などの“スキマ時間”を解消する、新たなエリア型の電子雑誌読み放題サービスです。特許技術「Zone Management」により、店内や施設内の Wi-Fi スポット (Zone) に接続された利用者の持つデバイスへコンテンツ配信することを可能にしており、様々なエリア、サービスシーン、お客様のコンテンツニーズにお応えします。

※Zone Management: 特許 第 5976033 号 取得



パソコンソフト使い放題 powered by OPTiM

100 本以上のパソコンソフトと電子書籍版「できるシリーズ」が使い放題のサービスです。家電量販店のパソコンソフト売り場を全て詰め込んだラインナップとなっており、幅広いシーンで利用できます。また、ソフトウェア販売プラットフォームとして独自のソフトを改修せずに、月額継続課金ビジネス化することも可能です。法人向けの提供モデルでは会計、業務報告、案件管理、営業管理、Web ノート、ストレージをクラウドで利用できます。



パソコンソフト使い放題
powered by OPTiM



Support Service



Optimal Diagnosis & Repair

デバイスやOS、ソフトウェアの状態を診断し、その結果をユーザーに表示したりオペレーターに送信することができます。また、問題のあった項目については自動復旧を行いユーザーの自己解決もサポートします。

※ NTT 西日本 (西日本電信電話株式会社) / NTT 東日本 (東日本電信電話株式会社)



Optimal Setup

ネットワークに接続されているルーターの Web UI を自動的に解析し、操作や設定を行うことができる技術です。市場にある約 300 種類以上のルーター群の最新機種をサポートします。NTT 西日本、NTT 東日本で「フレッツ簡単セットアップ」として採用され全国の世帯へ配布されていました。

Others

OPTiM Cafe



従来のWeb会議システムの課題であった利用開始までの複雑な手順を省き、ブラウザ上で番号を入力するだけで簡単に画面共有ができるサービスです。

mamoly®



ご家庭のルールを簡単に適応させることができ、お子さまの安心で安全なスマホやタブレットデビューに、最適なペアレンタルコントロールサービスです。

Optimal Guard



不正に遠隔操作されている状況を検知、通知します。禁止操作をすると、遠隔操作を行っているファイルを停止、削除する遠隔操作の不正プログラム対策ソリューションです。

知財戦略

オプティムでは、「ネットを空気に変える」というコンセプトを掲げ、創業当初からイノベーションを起こし、独自技術を搭載した製品サービスを知財で保護することによって新市場や新顧客を開拓してきました。このような背景から、オプティムには「イノベーション活動の成果は知財である」という考えが根づいています。新規事業分野への参入、事業の多角化、世界展開など、あらゆる局面で知財の有効活用を意識したイノベーション活動を展開していくことで、オプティムの製品サービスはお客様に選ばれ続けています。

知財管理体制

一貫した知財戦略のもとに事業活動を展開するため、知財戦略チームを中心とした知財管理体制を構築。「知財権ポートフォリオ」の全体最適化という視点から、企業全体の知財権を管理しています。また、リスクマネジメント・コンプライアンス等の視点において、知財を尊重する事を経営基本方針に含める事で、他人の知財権を侵害することなく、経営リスクの回避に繋がっています。

有効な特許の取得

製品サービスのサイクルがますます短くなる現代において、発明者が新しい発明を丁寧に検討し、広範囲にわたる関連技術の動向を適確に把握することが困難になっています。この課題解決の一環として、知財戦略チームでは、技術動向や特許出願動向に豊富な知識と経験を保有する担当者が、顧問弁理士と連携して発明を広げる活動を行っています。イノベーション活動の中で見逃されがちな特許の「種」を、有効な特許に結びつける取り組みを行っています。



知財実績（特許資産規模）

オプティムの所有している知財を民間の調査会社などが特許の件数や重要度に着目し、特許資産規模の価値の指標化を行っています。

国内 1 位^{※1}

特許 1 件当たりの情報通信分野・特許資産規模ランキング
出典元：株式会社パテント・リザルト社 2012 年 10 月 09 日ニュースリリースより

順位	企業名	特許資産規模 (pt)	登録件数
1	NTT	39,154	1,662
2	NTTドコモ	24,056	803
3	MICROSOFT	20,847	755
4	YAHOO	12,733	312
5	ERICSSON	10,866	370
6	日本放送協会	6,385	360
7	KDDI	5,299	391
8	野村総合研究所	4,503	144
9	OPTiM	2,345	19
10	FRANCE TELECOM	1,945	72

第 3 位

スマートフォン等による電子デバイス管理関連技術（IoT分野）特許総合力
出典：パテント・リザルト社「スマートフォン等による電子デバイス管理技術」（2014 年 10 月）

順位	企業名	総合力 (権利者スコア)	有効特許件数	個別力 (線高スコア)
1	パナソニック	612.0	86	78.8
2	シャープ	275.2	120	72.7
3	OPTiM	271.1	30	72.9
4	三菱電気	186.4	26	72.5
5	東芝	166.2	32	79.3
6	ソニー	164.8	36	65.5
7	富士通	77.0	19	62.6
8	NEC	74.3	20	65.8
9	ブラザー工業	66.7	17	69.1
10	京セラ	66.2	19	62.9

※2011 年 4 月 1 日から 2012 年 3 月末までの 1 年間に登録された特許を対象に「パテントスコア」を用いた評価を行い、企業ごとに総合得点を集計した結果です。オプティムは登録件数が 19 件ながら特許資産規模で第 9 位と分析されています。
※パテントスコアは、特許出願後の審査経過情報をもとに、個別特許の注目度をスコアリング評価する指標です。 ※1：表中の 10 位までの結果において、特許資産規模を登録件数で割って算出した値の比較より

Partnership

導入と販売の実績

オプティムの誇る、販売パートナーの強さとカバレッジの広さ



※敬称略・五十音順 ※1：NTT 西日本（西日本電信電話株式会社）／NTT 東日本（東日本電信電話株式会社） ※2：QTNet（九州通信ネットワーク株式会社）

We make the Net
as simple as breathing.



www.optim.co.jp



info@optim.co.jp

※記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。このパンフレットに記載された社名、製品・サービス名はそれぞれ各社の商標もしくは登録商標です。

※このパンフレットに記載された情報は発表日現在のもの、または開発中のものです。商品名及びのサービス内容・機能・仕様・お問い合わせ先などの情報は予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。

Printed on 2023.06